

第 26 回学術集会プログラム

12月2日（月曜日）

◎ **ランチョンセミナー** 12:30-13:20 (一条ホール)

共催: バイエル薬品株式会社

座長: 小林光紀 (BTC 日高事業所)

テーマ: 跛行の診断と治療 - 前肢 (Diagnosis and Treatment of Select Lameness Conditions - Forelimb)

講演者: Michael Davis, DVM, MS (CEO of New England Equine Medical & Surgical Center surgeon, lameness diagnostician)

○ **理事会・評議員会** 12:30-13:20 (3号館教授会室)

(理事、評議員の方は、3号館教授会室にお集まりください。)

◎ **開会挨拶** 菅野 茂 会長 13:25 (3号館教授会室)

◎ **シンポジウム** 13:30-16:00 (3号館教授会室)

テーマ: 日本の馬と祭り - 神に願う -

座長: 末崎真澄 (馬の博物館)

(はじめに) 日本の馬と祭りの概要

末崎真澄 (同上)

◎ 古代の馬の祭祀について

松井 章 (奈良文化財研究所)

◎ 絵馬と馬頭観音信仰

末崎真澄 (同上)

◎ 賀茂競馬の神事について

藤木保誠 (賀茂別雷神社)

◎ 日光東照宮の祭礼と流鏝馬

篠崎宏司 (日光東照宮)

◎ 田立の花馬祭り

高橋邦衛 (田立五宮神社)

(休憩)

16:00-16:10

◎ **一般口演 I**

16:10-17:30

(3号館教授会室)

16:10-16:30

座長：田上正明（社台ホースクリニック）

- 1 ウマの骨髄由来間葉系幹細胞の培養における血小板溶解液とウシ胎児血清の比較
内山裕貴ほか（帯広畜産大学、岐阜大学、京都大学）
- 2 ウマの結腸左背側変位に対して診断的腹腔鏡を用いた1症例
奥原秋津ほか（帯広畜産大学、岐阜大学、(元)十勝NOSAI）

16:30-17:10

座長：帆保誠二（鹿児島大学）

- 3 ウマの骨欠損に対する幹細胞混合骨形成蛋白質-2 含浸ゼラチンβ-リン酸3カルシウムスポンジの骨再生効果の検討
徐 鍾筆ほか（帯広畜産大学、岐阜大学、京都大学）
- 4 馬の骨関節炎に対する自己蛋白溶液（Autologous Protein Solution; APS）の関節注射による治療効果の検討
石原章和ほか（The Ohio State University, South Towns Equine, Cleveland Equine Clinic）
- 5 ウマの大腿骨における関節軟骨欠損に対する滑膜フラップの検討
上林義範ほか（帯広畜産大学、岐阜大学、京都大学）
- 6 LCPと5.5mmスクリューを用いた近位指骨(趾骨)間関節固定4症例
樋口 徹ほか（NOSAI 日高）

17:10-17:30

座長：桑野睦敏（JRA競走馬総合研究所）

- 7 日本のサラブレッド種雌馬におけるEndometrosisの病理形態像
花田道子ほか（ヤマザキ学園大学、University of Florida、北里大学、United States Army, Japan District Veterinary Command）
- 8 日本のサラブレッド種雌馬の下垂体における加齢に伴う形態学的変化
及川正明ほか（ヤマザキ学園大学、University of Florida、北里大学、United States Army, Japan District Veterinary Command）

● **懇親会**

18:00 -

(生協第2食堂、2F)

12月3日（火曜日）

◎ **一般口演Ⅱ**

8:30-10:00

（一条ホール）

8:30-9:00

座長：楠瀬 良（日本装削蹄協会）

9 元祖・日本から世界へ

田島芳郎（フリーランス）

10 ばんえい競馬近代化の形成過程

古林英一（北海学園大学）

11 アハルテケとトルクメニスタンの競馬

平賀 敦（JRA 競走馬総合研究所）

9:00-9:30

座長：末崎真澄（馬の博物館）

12 神馬は今

堀口尚史ほか（協和病院、歯科あおき）

13 ウマや他の動物の骨格をモチーフとした現代日本画制作

— 具象表現から半抽象表現へ —

柴田真美（文化学園大学）

14 馬の科学に関する科学コミュニケーションとサイエンスカフェの展望

林 正樹（まちづくり研究者）

9:30-10:00

座長：柏村文郎（帯広畜産大学）

15 ビートパルプ混合飼料を給与したサラブレッドによる採食量、採食時間および糞発酵性状

松谷陽介ほか（株式会社ホクチク、JRA日高育成牧場、帯広畜産大学）

16 GPS を用いた昼夜放牧環境下の子馬の行動解析

樋山沙織ほか（東京農工大学、JRA 日高育成牧場）

17 GPS を用いたサラブレッド種育成馬の放牧地における移動行動解析

田辺智樹ほか（酪農学園大学、JRA 日高育成牧場、ハラマキファームクリニック）

◎ **一般口演Ⅲ** **優秀発表賞候補口演** 10:00-10:55 (一条ホール)

10:00-10:55

座長：石田信繁（JRA 競走馬総合研究所）

- 18 植物由来接着剤の馬接骨用途への検討
金子大作ほか（九州工業大学、東京医科歯科大学、福井県立大学）
- 19 LAMP 法による *Tylorella equigenitalis* および *Tylorella asinigenitalis* の迅速検出
木下優太ほか（JRA 競走馬総合研究所栃木支所）
- 20 競走期における成長による体重増加と季節変動について
高橋敏之ほか（JRA 競走馬総合研究所）
- 21 交配後のサラブレッド種雌馬の T 細胞サブセットにおけるプロジェステロン関連遺伝子の変化
金井功太ほか（北里大学、JRA 日高育成牧場）
- 22 中国西周王朝における馬飼養管理の実態
菊地大樹（奈良文化財研究所、陝西省考古研究院、東京大学、北里大学）

◎ **定時総会** 11:00-12:00 (一条ホール)

◎ **ランチョンセミナー** 12:30-13:15 (一条ホール)

共催：バイエル薬品株式会社

座長：小林光紀（BTC 日高事業所）

テーマ：跛行の診断と治療 - 後肢 (Diagnosis and Treatment of Select Lameness Conditions - Hindlimb)

講演者：Michael Davis, DVM, MS (CEO of New England Equine Medical & Surgical Center surgeon, lameness diagnostician)

◎ **一般口演Ⅳ** 13:00-17:00 (3号館教授会室)

13:00-13:20

座長：近藤高志（JRA 競走馬総合研究所栃木支所）

- 23 ウシ超早期妊娠因子精製用アフィニティーカラムを用いたウマ超早期妊娠因子の精製に関する研究
佐々木遥菜ほか（岩手大学、JRA 日高育成牧場）

- 24 1948年競馬場で発生した馬日本脳炎
佐藤国雄（動物衛生研究所）

13:20-13:50

座長：南保泰雄（JRA 日高育成牧場）

- 25 分娩難易度別に比較した新生子馬の臍動脈と頸静脈の血液ガス分析値およびAPGARスコア
木村優希ほか（帯広畜産大学）
- 26 分娩後の重挽馬における産褥熱の発症率を高めるリスク要因の検索
滄木孝弘ほか（帯広畜産大学、ゆうべつ牛群管理サービス）
- 27 分娩前後の重挽馬における乳汁成分の生理学的変化
本田博代壽ほか（帯広畜産大学、社台コーポレーション）

13:50-14:30

座長：滄木孝弘（帯広畜産大学）

- 28 栗東トレーニング・センターに在厩している競走馬の発情調査
高橋佑治ほか（JRA 栗東トレーニング・センター、JRA 競馬学校、JRA 日高育成牧場）
- 29 アメリカンミニチュアホースの繁殖に関する研究
有川夏穂ほか（東京農工大学、社台コーポレーション）
- 30 PATHFAST で測定した雌ウマの発情周期中における血中プロジェステロン濃度の変化
登石裕子ほか（社台コーポレーション、岡山大学）
- 31 サラブレッドの子宮、胎盤、胎子性腺および副腎におけるインヒビン・アクチビン mRNA の発現
福田一平ほか（酪農学園大学、北里大学、JRA 日高育成牧場、岐阜大学）

14:30-14:50

座長：近藤誠司（北海道大学）

- 32 ヨーロッパにおけるスポーツホースの育種改良の現状
柏村文郎ほか（帯広畜産大学、日本馬事協会）
- 33 御崎馬の個体数と性比の変動による繁殖群構成と群内実子率の変化
妙中友美ほか（宮崎大学、ノーザンファーム、串間市役所、競走馬理化学研究所）

（休憩）

14:50-15:00

15:00-15:30

座長：片山芳也（JRA 競走馬総合研究所）

- 34 東京大学附属牧場で繋養する母・子馬の放射性セシウム集積状況
橘由里香ほか（東京大学）
- 35 病理解剖前の Ai（Autopsy imaging）が有用であった育成馬の 1 例
山田一孝ほか（帯広畜産大学、JRA 日高育成牧場、NOSAI 日高）
- 36 分娩 2 ヶ月前に死亡したクリオージョ種ウマについて（症例報告）
遠藤麻衣子ほか（東京大学）

15:30-16:00

座長：石原章和（麻布大学）

- 37 嚥下障害を主訴に急死した白筋症のポニーの 1 症例
大矢晏奈ほか（帯広畜産大学）
- 38 国内で初めて病理学的に馬増殖性腸症と診断した 1 症例
原田健弘ほか（北海道日高家畜保健衛生所、NOSAI 日高 中部家畜診療所、北海道大学、宮崎大学、JRA 競走馬総合研究所栃木支所）
- 39 原始神経外胚葉性腫瘍と診断された一例
村中雅則ほか（JRA 競走馬総合研究所栃木支所、栗東トレーニング・センター 美浦トレーニング・センター）

16:00-16:30

座長：高橋敏之（JRA 競走馬総合研究所）

- 40 運動科学を利用した“安全”かつ“効果的”な調教法の検討
土屋 武ほか（追分ファーム）
- 41 競馬騎手の追込み動作の客観的評価方法についての一考察 — 鍍荷重測定法による習熟度の評価—
長谷川充弘（JRA 広報部）
- 42 障害馬術競技におけるウマの頭頸位置に関する研究
西山慶太ほか（筑波大学）

16:30-17:00

座長：桑原正貴（東京大学）

- 43 サラブレッド種の高強度運動に伴う酸化ストレスに対する水素含有生理食塩水静脈内投与の影響

山崎将彦ほか (ヤマザキホースクリニック、JRA 美浦トレーニング・センター、MiZ 株式会社、エコモ・インターナショナル株式会社、山梨大学)

44 サラブレッド種 (2-5 歳) の安静時血清酸化度および抗酸化能の基準値策定の試み
小山勝弘ほか (山梨大学、ヤマザキホースクリニック、JRA 美浦トレーニング・センター、ウイスマー研究所)

45 サラブレッドにおける一過性運動が乳酸トランスポーター(MCT)の発現に及ぼす影響
北岡 祐ほか (東京大学、JRA 競走馬総合研究所)

◎ **一般口演V** 15:30-17:00 (一条ホール)

15:30-16:00

座長：佐々木直樹 (帯広畜産大学)

46 多血小板血漿 (Platelet-Rich Plasma: PRP) がウマ骨格筋組織におよぼす影響について
福田健太郎ほか (JRA 競走馬総合研究所、山口大学)

47 培養角膜上皮移植によるウマ角膜の再生
守山秀和ほか (JRA 競走馬総合研究所、JRA 馬事部)

48 神経成長因子のウマ好中球に及ぼす影響
石坂さおりほか (東京農工大学)

16:00-16:30

座長：笠嶋快周 (JRA 競走馬総合研究所)

49 深層性角膜実質膿瘍に対して1%ボリコナゾールの角膜内および結膜下注射を行い治癒した馬の2例
辻田裕規ほか (北摂ベッツセンター、松原動物病院、フロリダ大学)

50 BLIND WOLF TEETH の存在と影響について
石川貴士ほか (つくばレースホースクリニック)

51 関節運動学的アプローチ(AKA)による仙腸関節の治療により口向きが改善した一症例
伊藤桃子ほか (せりの馬診療所、広田ペインクリニック)

16:30-17:00

座長：森 達也 (日本装削蹄協会)

52 デキストリン経口投与によるウマの食餌性蹄葉炎発症モデル作製の検討
琴寄泰光ほか (JRA 競走馬総合研究所、(元) JRA 日高育成牧場、追分ファーム)

- 53 蜂窩織炎から蹄葉炎を併発した馬においてオルビフロキサシンの投与により劇的な改善をみた一例
石井美樹子（クラムボン動物病院）
- 54 蹄葉炎に実施した血管造影検査の傾向とその有用性
齋藤重章ほか（大和高原動物診療所）

◎馬臨床獣医師ワーキンググループ症例検討会 8:30-10:30 (3号館教授会室)

座長：樋口 徹 (NOSAI 日高 家畜診療センター)

テーマ：馬の消化器疾患

- 1) 近位小腸間膜裂孔に起因する小腸絞扼が認められた妊娠繁殖牝馬3例
○宮越大輔ほか (日高軽種馬農協 静内診療所)
- 2) 競走馬で発生した Clostridium difficile 感染症 (CDI) について
○黒田泰輔ほか (JRA 栗東トレーニング・センター、JRA 競走馬総合研究所栃木支所)
- 3) 結腸捻転再発予防策としての結腸固定術後の頻回疝痛馬について
○七尾祐樹 (NOSAI 日高)
- 4) 貧血を主訴としその死後病理解剖にて消化管型リンパ腫の全身転移が確認された馬の一例
○松本真実 (日本獣医生命科学大学、フィル動物病院)
- 5) 若齢サラブレッドにおける開腹手術症例
○田上正明 (社台ホースクリニック)

・コメンテーター：Dr. Nathaniel A. White II (Jean Ellen Shehan Professor and Director, Marion

duPont Scott Equine Medical Center, USA)

◎馬臨床獣医師ワーキンググループ招待講演 13:15-15:15 (一条ホール)

座長：樋口 徹 (NOSAI 日高 家畜診療センター)

テーマ：馬の疝痛：臨床診断および手術適応 (Equine Colic: Clinical Diagnosis and Decision for Surgery)

講演者：Dr. Nathaniel A. White II (Jean Ellen Shehan Professor and Director, Marion duPont Scott Equine Medical Center, USA)